事務事業評価シート

事務事業コード	019700	重点施策	まちづくり		_	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	鳥取市知名度アッ	プ大作戦事業		所属名	企画推進部	秘書課

1. 基本情報

_位 総	体系区分	コード		名 称		事業区分名称	区分
位置づけ総合計画の	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのある	まち	事業期間	平成28年度 ~ 全期	
づ画	政策	02	地域資源を生かしたま	ちづくり	扫物计入		
''	施策	2202	シティセールスの推進			根拠法令、 根拠計画等	
16		目標の種	別	平成28年度	令和2年度	TI MANUTE	
担無	媒体広告換算			30倍	30倍	事業分類区分	ソフト(任意)
標の				0	0	運営方法	外部委託
				0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名 鳥	取市知名度	アップ大作戦事業費	•		予算事業コード	01-02-01-03-02-13

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

	関西圏、首都圏
対象 (何を、誰を)	
	関西圏や首都圏などにおける本市の知名度や好感度をアップさせるため、各種メディアを使った広報を戦略的
意図 (どのような状態 にするために)	に 展開し、観光客の招致や企業誘致、UJIターン者の増加を図る。
	観光客の増加、特産品の消費拡大、企業誘致、移住定住者の増加などを図るため、関西圏や首都圏などにおけ
手段 (どうするのか)	る 情報発信や、政策上、必要な臨時的情報の発信を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

Ο.	サネツ-	十尺川川巴	I. 关棋 【LTAN.DO】		※ 中及別の取り組のを間係に記入				
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度		
内容	年度	E別計画	首都圏や関西圏への 各種メディアによる情 報発信	首都圏を中心とした都市部への各種メディアによる情報発信	首都圏を中心とした都市部への各種メディアによる情報発信		首都圏を中心とした 都市部への各種メディ アによる情報発信		
	・「すごい ーホリ!」 制作、スァ トの公開 ・テレビ・ 新観、情 告掲載 ・鳥取市		・テレビでの C M 放映・新聞、情報誌での広	情報発信・「すごい!鳥取市ワーホリ! お試し体験キャンペーン! の実施、スペシャルサイトの制作・ワーホリ体験記の掲載載。・テレビでのC M 放映・新聞、情報誌での広告掲載	情報発信 ・「すごい!無限のまち 拡大版 お試し体験キャンペーン」の実定 ・吉祥寺駅である。 スタージャックによる 告知ポスターの掲出。 ・WEBメディア、テレ ビ等での情報発信	情報発信・新たなプロモーション/それ、鳥取市だよ」に着手。開たなプロード・PRキャラクタード・リリー氏。を制作し、専用サイトを立ち上でWEBメディア等を中心に情報発信	情報発信・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		
	I	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)		
	事業費	費(A+B)	47,813	37,255	28,842	27,603	24,811		
_	直接	経費 A	33,375	22,617	21,599	20,413	17,740		
事業		国・県	0	0	5,000	0	0		
費	直接経 費の財	地方債	0	0	0	0	0		
	源内訳	その他	24,398	22,617	11,599	18,540	17,740		
		一般財源	8,977	0	5,000	1,873	0		
	人作	牛費 B	14,438	14,638	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	7,190	7,071		
略	員数の	正規職員	2.00	2.00	1.00	1.00	1.00		
	貝奴の 内訳	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
1	ш	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標 【PLAN·DO】

- T.	4. 負派を投入することで表記した店勤の人とできなす指標 【FLAN-DO】 指標名 単位 区分 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 へ和2年										
		指標名		区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度		
		[KPI]媒体広告換算比	倍	目標	30	35	40	50	50		
	1		口	実績	17	19	20	2.2	1.1		
		指標の説明) 関西圏、首都圏などにおける各種メディアの報道結果に基づ〈広告費換算額(倍率)基準値は平成27年度指標									
活動		媒体広告換算額	千円	目標	86000	86000	86000	86000	86000		
動指	2		113	実績	100360	194500	218626	32634	15572		
標		(指標の説明) 関西圏、首都圏などにおける各種メディアの報道結果に基づく広告費換算額									
		「砂の美術館」の認知度調査	%	目標	70	75	80	85	85		
	3		70	実績	78	77	79	76	80		
		(指標の説明) イベント出展の際の来場者アンケート									

5. 令和2年度の事務事業実施概要 【DO】 ※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動) 【問合せ先】広報室 0857-30-8008 【10次総の施策体系】2202 【予算計上の経過】 予算事業別概要目次:当初予算・P29(企010) 【事業の概要】 本市の全国的な知名度・認知度の向上により、観光入込客数や移住定住者の増加を図る とともに、本市に在住する市民自身も、自信と誇りを持てる市民愛着度の向上につなげて いくことで、住む人・来る人に愛される鳥取市の実現を目指す。 【事業の成果】 鳥取市ならではの子育て環境や支援・施策などに注目し、その魅力を「#鳥取家族」として全国に向けて情報発信することで、「住みたい田舎ランキング」で常に上位に位置す る本市のイメージ定着を図った。 平成 3 0 年度 2 1 , 5 9 9 千円 令和 元年度 2 0 , 4 1 3 千円 令和 2 年度 1 7 , 7 4 1 千円 事務事業の実施概要 【今後の課題・方向性】 人口減少が進み、自治体間競争が激しくなる中で、本市が広く認知され、選ばれるまちとなるべく、引き続き継続した取組を進める。 その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金。

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指	1	[KPI] 媒体広告換算比	57%	54%	50%	4%	2%
標達成	2	媒体広告換算額	117%	226%	254%	38%	18%
率	3	「砂の美術館」の認知度調査	111%	103%	99%	89%	94%

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度	□ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり	
3. 事業の年度別計画・実績 [PLAN・DO]より 当該年度で予定した事業が3月末時点でどのよう な進捗状況となったか。	□ 3. 事業未完了	
事業の成果		新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、広告活動に制限がある中で目標値の達成には至らなかったが、本市の魅力的な子育て環境に着目して「住みたい田舎ランキングの常連」としてのイメージ定着を図った。
6. 活動指標の達成率 【CHECK】より 「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未	□ 3. 概ね目標どおり	住のたい田台ノノイノケの市建」としてのイメータ定省を図った。
満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、 「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に	□ 4. 目標を下回る	
下回る」※最も達成度の低い指標で評価	■ 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

	□ 1. 拡充	□ 1-1 意図的に拡充	□ 4-1 意図的に縮小
	■ 2. 改善継続	□ 1-2 制度的に自然増加	□ 4-2 制度的に自然減少
今後の方向性	□ 3. 現状維持	■ 2-1 手段等の改善	□ 5-1 臨年実施等、意図的に休止
	□ 4. 縮小	□ 2-2 効率化、簡素化	□ 5-2 意図的に廃止
		□ 2-3 他事業との統合	□ 5-3 制度的に終了
担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由が わかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)	人口減少が進み、自治体間競争が く、引き続き事業継続が必要。	激しくなる中で、本市が「住みたい田舎ランキ	シグの常連」として広く認知され、選ばれるまちとなるベ

事務事業評価シート

 事務事業コート
 036300
 重点施策
 まちづくり
 令和2年度 第10次鳥取市総合計画

 事務事業名
 シティセールス推進事業
 所属名
 企画推進部 政策企画課

1. 基本情報

点 総	体系区分	コード		名 称		事業区分名称	区分
置合置計	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのある	まち	事業期間	平成30年度 ~ 全期	
位置づけ	政策	02	地域資源を生かしたま	ちづくり		10 1pu >1 \	
" o	施策	2202	シティセールスの推進		根拠法令、 根拠計画等		
1,5		目標の種	別	平成28年度	令和2年度	TENERIE T	
目施	媒体広告換算			30倍	30倍	事業分類区分	建設、整備
標の				0	0	運営方法	直営
				0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名 シラ	ティセールス	推進事業費			予算事業コード	01-02-01-07-01-61

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

	鳥取市ブランド(鳥取らしさ)
対象 (何を、誰を)	
意図	鳥取市の魅力の向上、また浸透を図り、住む人にも来る人にも選ばれるまち鳥取市を実現する。
(どのような状態 にするために)	
	プランドスローガン「SQのあるまち」に基づく事業を展開する。
手段 (どうするのか)	

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

3.	争業の	牛度別計画	「美績 【PLAN・DO】			※年度別の	取り組みを間深に記入
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
内容	年度	麦別計画			インターネット放送 番組の配信 SQのあるまち推進 事業補助金による助成	インターネット放送 番組の配信 SQのあるまち推進 事業補助金による助成 鳥取市シティセール スの映像制作	FMラジオ放送番組の配信。 のあるまち推進 事業補助金による助成 麒麟のまちフォトコ ンテスト・絵画コンク ールの実施
台	年度別実績				インターネット放送 番組の配信: 6回 (H3 0.10月~H31.3月) SQのあるまち推進 事業補助金による助成 :4件	インターネット放送 番組の配信:6回(R1 .7月 ~R2.3月) 5 Qのあるまち推進 事業補助金による助成 :2件 鳥取市シティセール ス映像の制作:完成	FMラジオ放送番組の配信: 2 回 SQのあるまち推進事業補助 金による助成: 1件 麒麟のまちフォトコンテスト 絵画コンクールの実施: 実施 本庁舎ライトアップ: R2.12.18 - R3.1.17
		区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)
	事業領	費(A+B)	0	0	10,389	10,862	10,556
毒	直接	経費 A	0	0	6,043	6,548	6,313
事業	+ AT	国·県	0	0	0	759	2,757
費	直接経 費の財	地方債	0	0	0	0	0
	源内訳	その他	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	6,043	5,789	3,556
	人	牛費 B	0	0	4,346	4,314	4,243
賠	員数の	正規職員	0.00	0.00	0.60	0.60	0.60
463	内訳	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
1		臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		地域プランドカ(地域魅力度)	位	目標	0	0	120	100	100	
	1		ĺΛ	実績	0	0	171	181	187	
		(指標の説明)(㈱プランド総合研究所が実施するインターネット調査による。順位を指標としているため達成%は評価しない。								
活動		[KPI]移住定住者数	世帯	目標	0	0	1100	1100	1320	
動指	2		巴市	実績	0	0	1009	1271	1550	
標		(指標の説明)目標値1,100世帯2,000人以上、基準値200世帯、351人(H26)								
		[KPI]鳥取砂丘・いなば温泉郷周辺の観光入込客数	万人	目標	0	0	320	320	320	
	3		刀人	実績	0	0	263	295	171	
		(指標の説明)基準値はH26								

5. 令和2年度の事務事業実施概要 【DO】 ※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動) 【問合せ先】広域連携係 0857-30-8013 【10次総の施策体系】2202 【予算計上の経過】 予算事業別概要目次:当初予算・P27(企005) 【事業の概要】 「鳥取市シティセールス戦略」に基づき、職員がブランドスローガン「SQのあるまち」の意味を理解・共有する取組、市民が主体となり本市の魅力を発信する取組への支援等 、本市の認知度やイメージの向上と、地域への愛着の醸成を図る取組を進める。 【事業の成果】 平成30年度:鳥取市シティセールス戦略推進会議(2回)、SQのあるまち職員研修(1])、SQのあるまち推進事業補助金による助成(4件)、インターネット放送番組の配信 (6回) (6回)、鳥取市シティセールス動画の制作 (も回)、無取用シティと一ルス動画の制作 令和2年度:鳥取市シティセールス戦略推進会議(3回)、SQのあるまち職員研修(1回)、SQのあるまち推進事業補助金による助成(1件)、FMラジオ放送番組の配信(2回)、麒麟のまちの魅力発信パント(フォトコンテスト・絵画コンクール、本庁舎ライトアップ、ホリデーマーケット)、 事務事業の実施概要 「鳥取市シティセールス戦略」の改訂 【今後の課題・方向性】 改訂した「鳥取市シティセールス戦略」に基づき、職員がSQの意味を理解・共有する取組を進め、職員のさらなる資質向上を図る。 また、市民の地域愛着度の向上やシビックプライドの醸成を図るため、本市の魅力を広 く発信する取組などのほか、SQプロジェクトチームでの各種課題解決に向けた協議・検 討に取り組む。

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成	1	地域ブランド力(地域魅力度)			143%	181%	187%
	2	[KPI] 移住定住者数			92%	116%	117%
率	3	【KPI】鳥取砂丘・いなば温泉郷周辺の観光入込客数			82%	92%	53%

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)			
年度計画の進捗度	□ 1. 計画を上回る■ 2. 計画どおり	新型コロナウイルス感染対策を行いながら、概ね計画どおり今年度事業を完了した。			
3. 事業の年度別計画・実績 [PLAN・DO]より 当該年度で予定した事業が3月末時点でどのよう な進捗状況となったか。	□ 3. 事業未完了				
事業の成果	□ 1. 目標を大幅に上回る	新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、 県境を跨ぐ人の移動が制限されたため。			
4 × 62/20X	□ 2. 目標を上回る	16/2/2000			
6. 活動指標の達成率 【CHECK】より 「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未	□ 3. 概ね目標どおり				
満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、 「50%~ 80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に	■ 4. 目標を下回る				
下回る」※最も達成度の低い指標で評価	□ 5. 目標を大幅に下回る				

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

	□ 1. 拡充	□ 1−1	意図的に拡充	□ 4-1	意図的に縮小
	□ 2. 改善継続	□ 1-2	制度的に自然増加	□ 4-2	制度的に自然減少
今後の方向性	■ 3. 現状維持	□ 2-1	手段等の改善	□ 5−1	臨年実施等、意図的に休止
	□ 4. 縮小	□ 2-2	効率化、簡素化	□ 5-2	意図的に廃止
	□ 5. 休止、廃止、終了	□ 2-3	他事業との統合	□ 5-3	制度的に終了
担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)	ルスの推進に取り組む。	どにより、市民	6の地域愛着度の向上やシビック	プライドの醸成	找につながってきており、引き続きシティセー